

平成25年10月30日

内閣総理大臣 安倍 晋三 様
国土交通大臣 太田 昭宏 様

一般社団法人 北海道消費者協会
会長 橋本 智子

J R北海道への支援に関する要請

北海道民の“足”となっているJ R北海道（北海道旅客鉄道株式会社）は、数年前から続く車両トラブルに加えて、レール幅の異常放置による貨物列車の脱線事故など問題が多発し、国土交通省から改善指示を受けました。その背景には、発足当初から収益性が低く、安全運行への投資をおろそかにしてきた構造的要因があると言われています。経営と安全運行体制を立て直すために、次のことを要請します。

記

1. J R北海道の経営と安全運行の体制を整えることは、私たち道民の暮らしと産業にとって緊急の課題です。特別監査や立ち入り調査の結論に基づき、J R北海道に対して、一日も早く経営刷新計画や安全運行体制の改善計画を策定するよう指導すること。
2. このままではJ R北海道の将来は危うく、私たち道民の足は奪われ、観光や主産業である第1次産業への影響も避けられません。早急な立て直しのため国は財政支援をし、併せて、J R他社に対して技術・人的支援を行うよう働きかけること。
3. 北海道でも少子高齢と過疎化が進み、地域の生活環境が徐々に低下している中で、鉄道が果たす役割は大きく、J R北海道の動向は地域の将来を大きく左右します。多面的機能を有する鉄道のあり方をしっかりと検証し、生活路線を維持、整備すること。